

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公表番号】特表 2005-501473 (P2005-501473A)
 【公表日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-002
 【出願番号】特願 2003-524168 (P2003-524168)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 1/16

H 0 4 J 11/00

H 0 4 J 13/00

【F I】

H 0 4 L 1/16

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 13/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 13 日 (2004.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基地局においてデータ変調を調節するための方法であって、
 送信のために送信機においてデータを受信することと、
 受信したデータを、送信のために、各パケットが特定のタイプの符号化 / データ変調を有するパケットにフォーマットすることと、
 前記パケットを送信することと、
 各パケットについて、該パケットが受信されたことの確認応答の受信のために戻りチャネルをモニタすることと、
 パケットに対する確認応答が受信されない場合、前記送信機において該パケットを再送することと、
 再送統計を収集することと、
 収集した再送統計を用いてそれぞれの特定のタイプの符号化 / データ変調を調節することを備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記特定のタイプの符号化 / データ変調は、前方誤り訂正 (F E C) であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記パケットは、直交周波数分割多元接続 (O F D M A) エアインタフェースを用いて送信され、前記特定の F E C 符号化 / データ変調調節は、O F D M A セット内のサブチャネルを選択的に無効化することに加えて実行されることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記パケットは、シングルキャリア周波数領域等化 (S C - F D E) エアインタフェースを用いて送信されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記パケットが符号分割多元接続（ＣＤＭＡ）エアインタフェースを用いて送信される
とき、前記戻りチャネルは、高速フィードバックチャネルであることを特徴とする請求項
１に記載の方法。

【請求項 6】

否定応答の受信に応答して、パケットを、許容不能な誤り率を有すると識別すること
をさらに備えることを特徴とする請求項 １に記載の方法。